

# 三条別院のご案内

## 三条別院に想う

学校にAED（自動体外式除細動器）が設置されたときに、私の大好きな先生がしてくれたお話を。

心臓発作等で命が危ぶまれる人がいたとしてもAEDを使って、止まった心臓に即座に電気的な刺激を与え、心臓を再び鼓動させて救命することができます。機械の電源を入れれば、音声を使い方を順に指示してくれます。

これまでは、心拍が停止すれば人の命は尽きてしまいました。それが、人の命を誰も救える可能性のある時代になりました。

小・中学生を対象にしたある調査で、「人は死んでも生き返ると思うか」という問いに、二割の子どもが「生き返ると思う」と答えています。愕然とします。毎日やっているゲームの中では、死んでもリセットすれば生き返ってきます。ゲームはリセットが簡単にできます。ゲームやテレビの中のバーチャルな死、ニュースの中の死など、命を軽く考えてしまいがちな環境に今の子どもたちはいます。

九十九歳の現役医師の日野原重明さんは、二十

年ほど前から全国各地の学校で十歳の子ども（四年生）を相手に「いのちの授業」を実施されています。

聴診器で自分や友達の心臓の鼓動を聴かせます。子どもたちは、「ドッキン、ドッキン」と規則正しく打つ心臓の音に驚きの声を上げます。そして、「いのち」はどこにあると思うかと尋ねると、多くの子どもが心臓を指差します。

それを見て日野原さんは、次のような話をするそうです。

君の「いのち」は、君が持っていて使えるもの。心臓は酸素や栄養物を持つ血液を頭や手足に供給する器、つまりポンプにすぎないんだよ。君たちが持っていて、自分らしく使える時間というものが「いのち」の本体なんだよ。その時間をこれから先、どう使うかが、君の生き方なんだよ。

そして、最後に「しゃぼん玉」を歌うそうです。野口雨情が生まれたばかりの女兒を病気で亡くしたときに、壊れたいのちを悲しみ、いのちが壊されないように祈って書いた詩です。

しゃぼん玉 飛んだ 屋根まで飛んだ

しゃぼん玉 消えた 飛ばずに消えた

生まれやすく かわれて消えた

風 風 吹くな しゃぼん玉 飛ばそ

三条別院も、AED・・・いる？

（第十八組 長周寺 池田 陽 氏）

## 〇次回の「三条別院に想う」は、

鳴澤 宏誓氏（第十九組 長福寺）より

「執筆いただきます」

## ■煤払い奉仕団がおこなわれました

去る十二月十八日（土）～十九日（日）、三条別院煤払い奉仕研修が行われ、新年を向かえるべく、五十二名の参加者が集い、一年分の煤を払い落しました。日本の伝統行事として知られる煤払いですが、三条別院においては、現在は第十八組の奉仕団を中心に実行されています。このような形で奉仕団が結成されたのは、二十年以上も前のことであつたと聞きます。しかし、先人達が護ろうとしてきた仏法は、我々の怠惰、慢心、愚痴という煤に遮られて、見え難くなっています。否、恐らく先人たちも、我々と同じような闇の中で苦闘していたのかもしれない。しかし釈尊以来二五〇〇年、確かに不変に届いているものがある。黒く汚れた雑巾を見ながら、十月の「三条別院に想う」の佐渡勝廣寺浜松智弘氏の言葉を思い出し、煤払いと先人の声を聞く営みなのだと感じさせられました。



■御命日(二十八日)の集い

宗祖親鸞聖人の御命日であります毎月二十八日に、「御命日の集い」を本堂にて、日中法要と法話、その後、座談会の場を開いております。どなたでもお参りいただけます。皆様の「ご参詣をお待ち申し上げております。」

なお、前日(二十七日)はお速夜法要を、午後一時三十分よりお勤めをしております。

【二月二十八日(金)】

午前十時 お勤め(御命日 日中法要)

文類偈 行四句目下

念 讚 洵五

和 讚 回口 次第六首

回 向 願以此功德

◎今月の法話講師

米山 裕子 氏(真宗学院第一期卒業生)

◇二〇一一年 法話講師一覧

- 二月 三条別院輪番
- 三月 有坂 次郎 氏(真宗学院第二期卒業生)
- 四月 渡邊 智龍 氏(第十八組 恩長寺)
- 五月 齋藤 恵康 氏(第三組 廣泰寺)
- 六月 鳴澤 宏誓 氏(第十九組 長福寺)
- 七月 藤井 信彰 氏(第十四組 長樂寺)
- 八月 村山 まみ 氏(真宗学院第一期卒業生)
- 九月 井上 知法 氏(第十三組 願性寺)
- 十月 草間 朋哉 氏(第十二組 勝覺寺)
- 十一月 竹内 淳一 氏(三条教務所 主事)

十二月 関根 正隆氏(第三組 長徳寺)

■定例法話の「案内」

もっと聞法できる場を、もっと別院に触れていただける場をと、本年三月より(試験的に三ヶ月)別院の新事業として、毎月十三日に「定例法話」をおこなうこととなりました。

◇期 日 毎月十三日

◇時 間 午後一時三十分より 一時間程度

◇場 所 三条別院 旧御堂

◇講師一覧

三月 佐々木憲雄氏(第十五組 光善寺)

四月 猪飼 松子氏(今朝白同朋の会代表)

五月 藤吉 禅氏(第十三組 廣深寺)

■春彼岸会のご案内

本年の春彼岸を左記の通り厳修いたします。皆様のご参詣をお待ちしております。

また、本年は、本山で御遠忌法要が厳修するため、従来、三日間(二昼夜法要)で勤めていたものを二日間(一昼夜法要)にさせていただきますので、ご了承願います。

尚、十九日(土)の正午におときを「用意いたしますので、ご希望の方は当院までご連絡下さい。

◇期 日 三月十八日(金) 十九日(土)

◇法要時刻

速夜法要(十八日)・午後一時三十分

晨朝法要(十九日)・午前七時

日中法要(〃)・午前十時

◇法話講師

速夜後 関根大丘氏(第二十組 松韻寺)

晨朝後 別院職員  
日中後 三条別院 輪番

■同朋会館に宿泊される方へお願い

同朋会館に宿泊される方は、同朋会館一階事務所にございます宿泊者帳に記帳していただき、シーツクリーニング代としまして、五〇〇円いただいております。

また、翌朝七時より本堂にて晨朝が勤まりますので、お参りいただけますようお願い致します

■別院奉仕研修について

先達の篤き御懇念によって護持されてきました三条別院にお越しいただき、その歴史に触れていただくとともに、現代の様々な問題を抱える私たちが、真宗門徒として親鸞聖人のみ教えに出遇うことを通じて、ともに語り合い、人間として生きる意味を尋ねていく場となることを願い、奉仕研修会を開いてみませんか。

○日程及び内容について、「要望等」ございましたら「相談承ります」。

○奉仕研修会をお申し込みいただく方(団体)へ、冥加金としまして左記のとおり頂きます。

◎冥加金

・日帰り 一、五〇〇円

・一泊二日 二、五〇〇円

◎食事代(昼・夕食は業者発注のため)

・朝食代 五〇〇円

・昼食代 一、〇〇〇円程度

・夕食代 一、三〇〇円程度